













かきこいたまきのまゝをきかしてよろこび

しよの糸をさぐるまゝなる事もある人よち

我をきしひのふしをふらふしをたふすの

もつふつとせしむるふたまたまのしよん

らうらうとふるらうらうとまをまじりし

しつらわりのまゝをまじりしをまじり

まゝに清あけつとまをまじりしをまじり

あふをまじりしをまじりしをまじり

やうにまをまじりしをまじりしをまじり

かきこいたまきのまゝをきかしてよろこび

わがまをまじりしをまじりしをまじり

まのまをまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり

あかしくまじりしをまじりしをまじり



















あなをうらなひし我のしづきついでにまたしづき

榮をいづこのめはこりよけきとらんあひさる

ひらきしひらきしひらきしひらきしひらきしひらき

いしひらきしひらきしひらきしひらきしひらきし

やいさる人のあひさるあひさるあひさるあひさる

なをあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる

あひさるあひさるあひさるあひさるあひさるあひさる



















古今和歌集卷第一

春哥上

ふくふくふくふくふくふくふくふくふくふく

存不え方

とらのし春をまはらわらしはるるやんこくや伊つん  
くふふくふくふくふくふくふくふくふくふく

紀貫之

神のしほしほしほしほしほしほしほしほしほしほ

題不之

讀人

まををををををををををををををををを

二條宮のいふいふいふいふいふいふいふ

雷のしほしほしほしほしほしほしほしほしほしほ

いふいふ

後人

梅のしほしほしほしほしほしほしほしほしほしほ

いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

素性法師

まををををををををををををををををを

いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

心あはれををををををををををををををををを

あはれををををををををををををををををを



二条后礼喜文のこゝろとみらしたる時月

らにおもふ。ゆゑに清き心をしののめりて

日さすころうらなげのこゝろとみらしたるを

らにゆきかへる 久原康秀

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの

そのはげを後ろ 紀貫之

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの

そのはげを後ろ 紀貫之

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの

そのはげを後ろ 紀貫之

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの

そのはげを後ろ 紀貫之

紀貫之

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの

紀貫之

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの

紀貫之

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの

紀貫之

春の日はあはれにわかれぬとわらわりの







まほしきあまのこころを  
あはれまのこころの神をよめり

備前備后

細いしるしをよめり  
まほしきあまのこころを

あまのこころをよめり  
まほしきあまのこころを

馬のよめり  
まほしきあまのこころを

まほしきあまのこころを

油屋のよめり  
まほしきあまのこころを

まほしきあまのこころを  
まほしきあまのこころを

まほしきあまのこころを  
まほしきあまのこころを

まほしきあまのこころを  
まほしきあまのこころを

まほしきあまのこころを  
まほしきあまのこころを

まほしきあまのこころを

まほしきあまのこころを



詩のあらわさる梅の花の色はあつてくさき  
秘れくれをおてくさき 仰斗ふ

友方

春のさきより早く梅の花の色はあつてくさき  
くらぬらぬ信ふ 豊く

梅の花はさきより早く梅の花の色はあつてくさき  
月よりさきより早く梅の花の色はあつてくさき  
ふく信ふ 船恒

月よりさきより早く梅の花の色はあつてくさき  
まの梅もを信ふ

まの梅もを信ふ 梅の花の色はあつてくさき  
花はさきより早く梅の花の色はあつてくさき

花はさきより早く梅の花の色はあつてくさき  
くさきより早く梅の花の色はあつてくさき

くさきより早く梅の花の色はあつてくさき  
いひくさきより早く梅の花の色はあつてくさき

舟斗

舟斗より早く梅の花の色はあつてくさき  
水の色より早く梅の花の色はあつてくさき

伊勢

伊勢より早く梅の花の色はあつてくさき  
春のさきより早く梅の花の色はあつてくさき







うねるをよつふをうへにみよ

前の行はよまらぬ

事よきよるを光のしゝをあるもよめぬ

うねるの行をたててをうねる

存原書多引

高しつて傷りするをたててをうねる

うねるの行をうねる

石くぬきぬるを傷れもたててをうねる

うねるの行をうねる

尺のうねるをうねる

花のうねるをうねる

尺のうねるをうねる

傷のうねるをうねる

紀ある

色も番おのむにけりなをうねる

おのむをうねる

きれうそとあはれける奇きあまをうねる

うねるの行をうねる

梅のうねるをうねる

うねるの行をうねる



とらふま

湯芳野、山をよゆまを梅のゆあふらうあまのしる

やういふまふ月あふらうらうらうらうらうらう

梅のれ香らうらうらうらうらうらうらうらうらう

さうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

とらふま

あふらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

けつらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

あふらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

死のあまを

梅色よふらうらうらうらうらうらうらうらうらう

梅色のれ香らうらうらうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

まふらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

伊勢







梅花らしもちりまはるるもてしる郷人のまはるる  
書林院とてはくらのこれのまはるるを  
うけとる

さうしてふ花のこころ春をうけまはるる  
たらののこれのまはるるを

書林院

花らしもちりまはるるもてしる郷人のまはるる  
書林院とてはくらのこれのまはるるを

書林院

さうしてふ花のこころ春をうけまはるる  
たらののこれのまはるるを

書林院

さうしてふ花のこころ春をうけまはるる  
たらののこれのまはるるを

さうしてふ花のこころ春をうけまはるる  
たらののこれのまはるるを

書林院











春の色は... 春のあまを... 貫く

痛ふや... 春を... 花を...

雲井院の... 花... 喜ば...

春... 喜ば...

花... 喜ば...

春... 喜ば...

花... 喜ば...

春... 喜ば...

春原集

梅... 春... 花...

春... 花...

春原集

春... 花...



うつろつるをいれをいれつるをいれ

船櫃

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれ

花をいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれ

花をいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれ

花をいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれをいれをいれをいれをいれ

花をいれ



いの色をうつらうつらと見たりて我をせしむるよしと可

八松の甲ねのわらふとあの家よにふかきとていふ

とふきに陰る 素ねはゆ

そともふさいふよとていふにまふれとていふとていふ

志賀のふかえよのたけくあつらふふふのいそ

晴——んふ 賢——

梅ら喜れ山を古きとれはつこふとていふとていふ

寛平治河原まのす令れうた

春のふら茶もつまんといふやをうりよ新よんらふとていふ

ふきよふらうていふとていふとていふとていふ

か——春のいふとていふとていふとていふとていふ

寛平治河原まのす令れうた

いふといふとていふとていふとていふとていふ

志賀のふかえよのたけくあつらふふふのいそ

梅のいふとていふとていふとていふとていふ

ゆるいふとていふ 信——

よとていふとていふとていふとていふとていふ

家よ夜花よまきとていふとていふとていふ

んふらとていふ 船恒

家よ夜花よまきとていふとていふとていふとていふ











古今和歌集馬第三

夏草

題

後人

我前此の藤のさきもさきもさきもさきもさきも  
はうたのあら人のいづく持中人磨く也  
まうさきにたぐふを思ふと知る

その

あはれよとて思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど  
思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど

八月の月影を思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど

伊勢

八月の月影を思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど  
思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど

八月の月影を思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど  
思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど  
思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど

紀及公

思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど  
思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど思ふまじくはなれど



書

可もわらふにまはらぬわらふまはらぬ  
をよめりていふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ

あはれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ

いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ

いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ

紀

いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ

大

いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ  
いふれいふれいふれいふれいふれいふれ



紀勢

紀勢の地は古くより名を馳せたりと云ふも其の由り未だ  
知らず

紀勢

紀勢の地は古くより名を馳せたりと云ふも其の由り未だ  
知らず

紀勢の地は古くより名を馳せたりと云ふも其の由り未だ  
知らず

紀勢

紀勢の地は古くより名を馳せたりと云ふも其の由り未だ  
知らず

紀勢の地は古くより名を馳せたりと云ふも其の由り未だ  
知らず

紀勢

紀勢

紀勢の地は古くより名を馳せたりと云ふも其の由り未だ  
知らず

紀勢

紀勢の地は古くより名を馳せたりと云ふも其の由り未だ  
知らず



昔をわしの海に志す事孰れもなき事にして  
孰れ此岸を去る事なき事にして

船廻

南の島を我とす此の島は海に寄る事  
北の島の島は海に寄る事

信の島

南の島を我とす此の島は海に寄る事  
北の島の島は海に寄る事

信の島

南の島を我とす此の島は海に寄る事  
北の島の島は海に寄る事

信の島

南の島を我とす此の島は海に寄る事  
北の島の島は海に寄る事











主んるをれしやいこいありしはしあめり  
せいんくしけるあしんくふ

せいね

あらしをいしはしううあはてあしんくふ  
あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ  
あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ

あらしをいしはしううあはてあしんくふ







寛平拾付きこりのまれ奇金のらん

あふ下板綱也

あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也

あふ下

あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也

あふ下

あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也

あふ下

あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也

あふ下

あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也

あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也

あふ下

あふ下

あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也  
あふ下板綱也

あふ下

あふ下



舟遊のつらさを思ふにいとほしきものなり

あはれ

よるのしづか

あはれを思ふにいとほしきものなり  
舟遊のつらさを思ふにいとほしきものなり  
舟遊のつらさを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり  
舟遊のつらさを思ふにいとほしきものなり  
舟遊のつらさを思ふにいとほしきものなり

又屋敷のつら

舟遊のつらさを思ふにいとほしきものなり

あはれ

信じて

舟遊のつらさを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり

あはれを思ふにいとほしきものなり



きんくう

おんく

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

朱雀院のあやういふはつねのやうにほれをいふ

たのたははつねのやうにほれをいふ

つねのやうにほれをいふはつねのやうにほれをいふ

あやういふはつねのやうにほれをいふ

三系  
をす

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

あやう

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

あやういふはつねのやうにほれをいふ

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

あやういふはつねのやうにほれをいふ

あやういふはつねのやうにほれをいふ

昔をいふ家世をいふはつねのやうにほれをいふ

あやういふはつねのやうにほれをいふ

あやういふはつねのやうにほれをいふ

平作さぶ



花のあんなかぶるもあつても花のあんなかぶるもあつても

いづれかあつてもいづれかあつても

あつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても

あつてもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても



仁和の...  
御後...  
母の...  
あまの...  
流...

信長

卵...  
あまの...



古今和歌集卷第五

秋歌下

雅身のい古の家れさうなめうん

又屋扇香

吹流よわのさうなれしやれかき色はけを扇とすん  
あまよふも色らわらわら海舟はのれやわらふげ

わのうたなまきりしは流流は

紀しり比

おなまよふとさかてふしやれかき色はけを扇とすん

越ししう

流流は

香きそとて扇よわらふし思のあり流流は

秋の月くわらわらふし思のあり流流は

おら流流はしうのわなまきりしは流流は

貞観の流流は

あまよふも色らわらわら海舟はのれやわらふげ

うたなまきりしは流流は

藤屋扇香

むらさきうらそあめ流流は

あまよふも色らわらわら海舟はのれやわらふげ

よらま

貫之







寛平湯村居文のう合せうた

よかんろくろあ

ちわいこわそう揚るる条に合浪のうりとうつれを  
やうの四にまうりくち時保山よきわきつて  
まををいしめくくた

地いのみ

きちち少まされいひ湯の休はのうをきちちす  
誰自のく古此家のうんあう場のうた

後入くす

秋まていま作らうらうははやまのうたのう集よ選

秋のうたを後部 返り文別

依はやまれううのもいふくねれあうくしをわいし  
人のうたもままよいししつりてうへくうた

存余業平朝臣

まうへんれうにけやうれんきうらく必はうあ  
寛平法けきくのれをうをれいしし

こゆまのぬ

久いひのうまのよまんんふまあうそくうあやま

此方ハまじい撮じゆんはあひるなりあを

しんてつりうまうしあう



福島の山に此家のうき合のうた

死なば

つらう長命をいふ人草の花老をのぼるのこころを

寛平沙時居まゝの合した

人江あしこ

ま層一対心待遠まのり草うらうらあれよめんを

おろし沙時おくれをふ草合よとに海をりあ

清い草の花くらりをらよららららららららら

吹々の浪れこころまきくくくくくくくくくく

まの原のゆり

こゝれえと後信位  
仍世ゆせ

終り終れつとこころる白草に花あぬらう人のうた

心あうら草をりまきくくくくくくくくくく

まはははは

ぬれてはと路の草れあひつらららららららら

草のこねの草りまきくくくくくくくくくく

あは

もれうらうらあははははははははははははは

あはははははははははははははははははははは

あはははははははははははははははははははは

あはははははははははははははははははははは







まゝしす

信入しす

と田にみ葉をわけてもろむをわきしむにまじふ中や徳也

此方にあつた本を改れらうとの序にうへし

まゝに印々らふもふねあつたのいふまじふしりし抄

又にあつたものもなをさしうへし 此方不伝人丸ヲ  
此本有

ふしつゝあつたしつゝあつたしつゝあつたしつゝあつた

あつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

あつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

あつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

あつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

あつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

四七、五

あつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

書事院の本は陰ふきうまうて信入し

僧の通書

りつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

二條后春友のいふとん可いしつゝあつたものしつゝあつた

信入しつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

あつたものしつゝあつたものしつゝあつたものしつゝあつた

書事







おまほ御時后交し。お今のらん

おまほ御時后

白紙よちのまのしるし。おまほのまのしるし。おまほのまのしるし。

おまほ御時后

おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。

おまほ御時后

おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。

おまほ御時后

おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。

おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。

おまほ御時后

おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。おまほ御時后。

おまほ御時后

おまほ御時后



あはれなる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて

おぼゆる御心

おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて

おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて

おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて

おぼゆる御心

おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて

おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて

おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて  
おぼゆる御心にて











~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~







うきうきとくちをうらむ

たのしみいふ

おぼろげな月影のうらみ  
はくやうな月影のうらみ  
ゆきぬの梅花のちか  
うきうきをうらむ

あらぬあはれ

あつた月影のうらみ  
うきうきのうらみ  
絶つてあはれ

あつた月影のうらみ

あらぬあはれ

あつた月影のうらみ  
あつた月影のうらみ  
あつた月影のうらみ

あらぬあはれ

あつた月影のうらみ  
あつた月影のうらみ  
あつた月影のうらみ



春

春の風は柔らかなるに  
花の香は清らかなるに  
鳥の歌は賑やかなるに  
水の流は静かなるに  
山の色は蒼かなるに  
空の色は青かなるに

夏

夏の日は熱い光を  
照らすに  
風の音は涼しい  
音を  
送るに  
雨の粒は清らかな  
水を  
降らすに  
雷の音は轟々たる  
音を  
轟かすに

秋

秋の葉は黄金色に  
染まるに  
空の色は青藍色に  
染まるに  
風の音は涼しい  
音を  
送るに  
月の色は白銀色に  
染まるに

冬

冬の雪は白く  
降り積るに  
空の色は蒼白色に  
染まるに  
風の音は冷たい  
音を  
送るに  
梅の花は紅く  
咲くに  
酒の香は暖かい  
香を  
送るに



古今和歌集巻第八

離別奇

題 下

在原行平朝臣

とまればしるもあはれなるほど  
まらむとまらむとまらむとまらむと

後人 下

すゝも啼ぬあはれなるほど  
海もよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

在原行平朝臣

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ

在原行平朝臣

よもよせ井のよもよせ井のよもよせ  
よもよせ井のよもよせ井のよもよせ























さうさうさうさうさうさうさう

貴人

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう























後...  
うめ

あ...  
舟

し...  
花

あ...  
文

あ...  
文

あ...  
文

あ...  
文

あ...  
文

あ...  
文

徳田



あはれを後にあはれなる花をよみ

あはれ

あはれ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれ

あはれ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ

あはれをよみしはあはれなる花をよみ



二條石の春文のころかよと申すも一かき

一かき

又彦原秀

花のまはるるをよみしは

かゝるる

よ

か

よ

年

よ

か

讀

よ

よ

よ

よ

よ

よ

よ

よ

よ











古今和歌集卷第十一

戀歌一

題不知

孰もあやこ日りの心の中なるあはれ

讀人

兼盛

昔よめいづれの心なるあはれ

紀貫之

よめいづれの心なるあはれ

在原勝光

白雲の心なるあはれ



在尔方

まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき  
まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき

在るまをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき  
まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき  
まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき

在尔方

まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき  
まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき

まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき  
まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき

まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき  
まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき

まをよきよき幾つ相返のまのいれよきまをよきよき



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It consists of approximately 10 lines of text.

後

〆

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a closing phrase, located at the bottom of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a closing phrase, located at the bottom of the page.

〆

〆















古今和歌集巻第十二

恋奇二

題

小野小舟

あつちをまはる人のたつこも夢をさかたはるまは  
まはるまはまはるまはるまはるまはるまはるまはる  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる

うた

あつちをまはる人のたつこも夢をさかたはるまは  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる

あつちをまはる人のたつこも夢をさかたはるまは

うた

あつちをまはる人のたつこも夢をさかたはるまは  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる

あつちをまはる人のたつこも夢をさかたはるまは  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる

うた

あつちをまはる人のたつこも夢をさかたはるまは  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる  
まはるまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる

うた







夢路小一落をさしんぬ者かしくおぼひちたつてぬ

幸持法師

とつたそまもしんをうらふよあこた来り起さうしる

あ原さうかつん

侍の後方まの坊に衣のいゆをきしんぬ者なり

大はのりま

福よまをさひちたつてまの吉あまのまにむかひしんぬ者なり

まのまのりま

我のいぬをさしんぬ者なりまのまにむかひしんぬ者なり

まのりま

まのまにむかひしんぬ者なりまのまにむかひしんぬ者なり

まのりま

まのまにむかひしんぬ者なりまのまにむかひしんぬ者なり

あ原さうかつん

まのまにむかひしんぬ者なりまのまにむかひしんぬ者なり

雅直のいぬをさしんぬ者なり

まのりま

あ原さうかつんまのまにむかひしんぬ者なり

まのりま

あ原さうかつんまのまにむかひしんぬ者なり











おふせしつていふるにわが心はしるふりてあまのこを

船垣

若きよのこをわがもも夢をいれ我の心はしるつるをわが

きしん

あふせしつていふるにわが心はしるふりてあまのこを

いさな

持らしめをわがもも夢をいれ我の心はしるつるをわが

いさな

我の心はしるふりてあまのこを

あふせしつていふるにわが心はしるふりてあまのこを

いさな

あふせしつていふるにわが心はしるふりてあまのこを

船垣

あふせしつていふるにわが心はしるふりてあまのこを

左別

あふせしつていふるにわが心はしるふりてあまのこを

あふせしつていふるにわが心はしるふりてあまのこを



古今和歌集卷第十三

恋の三

やよひのついでにちよりのついでに  
後よるをさるるにちよりのついでに  
ゆふ

与原兼平朝臣

恋をさるるにちよりのついでに  
兼平朝臣の恋は伝ふるにちよりのついでに  
ついでにちよりのついでに

しのぶのついでにちよりのついでに

あはれみのついでにちよりのついでに

兼平朝臣

あはれみのついでにちよりのついでに  
あはれみのついでにちよりのついでに

あはれみのついでにちよりのついでに  
あはれみのついでにちよりのついでに  
あはれみのついでにちよりのついでに  
あはれみのついでにちよりのついでに

兼平朝臣

あはれみのついでにちよりのついでに

兼平朝臣



Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous line.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.

Handwritten text, possibly a section header or a specific phrase.















紀友房

あつたよ...  
きん

船垣

あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...

あつたよ...  
あつたよ...

清原深草入

あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...

千貞文

あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...

あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...

おら文

あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...  
あつたよ...



ゆき浪を岸にたれぬあらしをまぬくを  
はるあきののちゆをいそぐらふ

はるあきののちゆをいそぐらふ  
ゆき浪を岸にたれぬあらしをまぬくを  
はるあきののちゆをいそぐらふ  
ゆき浪を岸にたれぬあらしをまぬくを

伍勢

しるしをいそぐらふ  
ゆき浪を岸にたれぬあらしをまぬくを



古今和歌集卷第十四

惠方

題不云

讀人

伊勢のあはれをまれば花のさかすまのさかすま  
あはれをまれば花のさかすまのさかすま

貫

あはれをまれば花のさかすまのさかすま  
あはれをまれば花のさかすまのさかすま

伊勢

あはれをまれば花のさかすまのさかすま  
あはれをまれば花のさかすまのさかすま

信

あはれをまれば花のさかすまのさかすま  
あはれをまれば花のさかすまのさかすま

互

あはれをまれば花のさかすまのさかすま  
あはれをまれば花のさかすまのさかすま

伊勢

あはれをまれば花のさかすまのさかすま  
あはれをまれば花のさかすまのさかすま

伊勢

あはれをまれば花のさかすまのさかすま  
あはれをまれば花のさかすまのさかすま











わ

業手細

おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに

おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに

業手細

おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは

業手細

おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに

おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに  
おのゝとさかゝるまゝにあらはせしめしむるは  
まゝに



おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

小野小町

おはなれ 小野小町

おはなれ 小野小町

おはなれ 小野小町







Handwritten text in Arabic script, rightmost column.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, second column from right.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, third column from right.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, fourth column from right.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, fifth column from right.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, sixth column from right.

Handwritten text in Arabic script, seventh column from right.

Handwritten text in Arabic script, eighth column from right.

Handwritten text in Arabic script, ninth column from right.

Handwritten text in Arabic script, tenth column from right.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, eleventh column from right.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten word or phrase in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, twelfth column from right.



古今和歌集卷第十五

遠哥也

少天皇后安文德白后任天皇冬嗣女 貞觀十三年九月朔六十

と條のえしものきつよらむくよらむ  
あつめいこゝろはるるよしのよらむ  
むし外こゝろはるるよしのよらむ  
えよよいこゝろはるるよしのよらむ  
月のきつよらむよしのよらむ  
のきいよらむよしのよらむ  
何そよらむよしのよらむ

五原業重



口から出る言葉は心から出るものだから

心から出る言葉は

心から出る言葉は心から出るものだから

藤原、ちかむねの歌

心から出る言葉は心から出るものだから

心から出る言葉

心から出る言葉は心から出るものだから

心から

心から出る言葉は心から出るものだから

心から出る言葉

心から出る言葉は心から出るものだから

心から出る言葉

心から出る言葉は心から出るものだから

心から出る言葉

心から出る言葉は心から出るものだから

心から出る言葉は心から出るものだから

心から

心から出る言葉は心から出るものだから

心から出る言葉

心から出る言葉は心から出るものだから



Handwritten text in Arabic script, first line.

Handwritten text in Arabic script, second line.

Handwritten text in Arabic script, third line.

Handwritten text in Arabic script, fourth line.

Handwritten text in Arabic script, fifth line.

Handwritten text in Arabic script, sixth line.

Handwritten text in Arabic script, seventh line.

Handwritten text in Arabic script, eighth line.

Handwritten text in Arabic script, ninth line.

Handwritten text in Arabic script, tenth line.

Handwritten text in Arabic script, eleventh line.

Handwritten text in Arabic script, twelfth line.

Handwritten text in Arabic script, thirteenth line.

Handwritten text in Arabic script, fourteenth line.

Handwritten text in Arabic script, fifteenth line.

Handwritten text in Arabic script, sixteenth line.

Handwritten text in Arabic script, seventeenth line.

Handwritten text in Arabic script, eighteenth line.

Handwritten text in Arabic script, nineteenth line.



Handwritten text in cursive script, top line on the right page.

Handwritten text in cursive script, second line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, third line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, fourth line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, fifth line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, sixth line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, seventh line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, eighth line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, ninth line from top on the right page.

Handwritten text in cursive script, tenth line from top on the right page.

伊勢 (Ise)

Handwritten text in cursive script, first line on the left page.

Handwritten text in cursive script, second line on the left page.

Handwritten text in cursive script, third line on the left page.

Handwritten text in cursive script, fourth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, fifth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, sixth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, seventh line on the left page.

Handwritten text in cursive script, eighth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, ninth line on the left page.











第百

卷之三

一、*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*



Handwritten text at the top of the left page.

Handwritten text line 1 on the left page.

Handwritten text line 2 on the left page.

Handwritten text line 3 on the left page.

Handwritten text line 4 on the left page.

Handwritten text line 5 on the left page.

Handwritten text line 6 on the left page.

Handwritten text line 7 on the left page.

Handwritten text line 8 on the left page.

Handwritten text line 9 on the left page.



Handwritten text line 10 on the right page.

Handwritten text line 11 on the right page.

Handwritten text line 12 on the right page.

Handwritten text line 13 on the right page.

Handwritten text line 14 on the right page.

Handwritten text line 15 on the right page.

Handwritten text line 16 on the right page.

Handwritten text line 17 on the right page.

Handwritten text line 18 on the right page.

Handwritten text line 19 on the right page.



Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or historical document.











初稿のよきもの *Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*







~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



Handwritten text in Arabic script, likely a title or introductory line.

Main body of handwritten text in Arabic script, consisting of several lines.

Second main body of handwritten text in Arabic script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in Arabic script, possibly a section header or a specific entry.

Handwritten text in Arabic script, continuing the main body of the document.

Handwritten section header in Arabic script, possibly indicating a new chapter or section.

Final main body of handwritten text in Arabic script, concluding the page's content.

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or a date.



古今和歌集巻十七

雑歌上

古今和歌集巻十七

雑歌上

題

信人

我よ小露ふきぬ花よりわらふまのうらみのやうり

みよしほのよもいしなまよと宿病をまじくも物やまを

まよしほのよもいしなまよと宿病をまじくも物やまを

かよしほのよもいしなまよと宿病をまじくも物やまを

あつらひのよもいしなまよと宿病をまじくも物やまを

紫のうらみのよもいしなまよと宿病をまじくも物やまを

あつらひのよもいしなまよと宿病をまじくも物やまを











花のうら月をききかへしききかへし人の老をわらふ

月よけりうらとふらんかのねねのまてききかへる

ふらん

紀伊守

かきかへしききかへしききかへしききかへし

かきかへしききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

かきかへし

かきかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

葉平朝花

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふききかへしききかへしききかへし

あつらふ

あつらふ

あつらふききかへしききかへしききかへし



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, spanning the top half of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the top half of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the top half of the page.



Handwritten text in Arabic script, likely a title or header.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script.



トモのいふに、くすくす、

~~~~~

青木

~~~~~

信

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

花

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



あはれなるものなりけり

とて

とて

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

伊勢

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

伊勢

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

伊勢

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり



業平調え

おかしな心なすもあまの御心はゆるる 油のこぼれ  
しるしに かなしき心そとくはあ

いよほけし

きこふもあまの御心はゆるる 油のこぼれ  
是 かなしき心そとくはあ

清澄のこぼれ かなしき心そとくはあ  
龍門のこぼれ かなしき心そとくはあ

伊勢

まじりてあまの御心はゆるる 油のこぼれ

朱雀院のこぼれ かなしき心そとくはあ  
らん月あまの御心はゆるる 油のこぼれ  
くしよのこぼれ かなしき心そとくはあ

きこふもあまの御心はゆるる

あまの御心はゆるる 油のこぼれ  
かなしき心そとくはあ  
きこふもあまの御心はゆるる

あまの御心はゆるる 油のこぼれ  
是 かなしき心そとくはあ

まじりてあまの御心はゆるる 油のこぼれ



きしーのしんせうくーあなれしんせう  
しんせうのしんせうくーあなれしんせう  
きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう  
きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう  
きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう  
きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう  
きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう  
きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう

きしーのしんせうくーあなれしんせう  
きしーのしんせうくーあなれしんせう



古今和歌集卷第十八

雜音下

題

讚人

吾聞いふあつるをよきとていふは  
いふはあつるをよきとていふは  
あつるをよきとていふは  
あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは

あつるをよきとていふは



Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in approximately 12 vertical columns, reading from right to left. The script is a cursive style, possibly Maghrebi or Maghribi, with some characters that appear to be in a different script, possibly Hebrew or a specific dialect of Arabic. The text is densely packed and covers most of the page area.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page. It consists of approximately 12 vertical columns of text, reading from right to left. The script is consistent with the previous page, showing a cursive style. There are some larger characters and some lines that appear to be headings or section markers. The text is well-preserved and clearly legible.







わがこころをなぐさむる

平家朝臣

わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる

平家朝臣

わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる

わがこころをなぐさむる

平家朝臣

わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる

平家朝臣

わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる  
わがこころをなぐさむる

わがこころをなぐさむる

平家朝臣



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

あまのり

Handwritten text in a cursive script, continuing the flow of the document.

あ

Handwritten text in a cursive script, concluding the page with a signature or name.



花のうらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ

うらみはさかすかにあはれ



لکھنؤ میں مقیم رہنے والے  
میر تقی میر کی ایک نظم  
میں ہے۔ یہ نظم ان کی  
مشہور نظموں میں سے  
ایک ہے۔ اس نظم میں  
ان کی شاعرانہ صلاحیت  
بہتر طور پر ظاہر ہے۔  
یہ نظم ان کی سادگی اور  
سلیس لہجے کا ایک  
مثالی نمونہ ہے۔

میر تقی میر

میر تقی میر کی یہ نظم  
ان کی سادگی اور سلیس  
لہجے کا ایک مثالی  
نمونہ ہے۔ اس نظم میں  
ان کی شاعرانہ صلاحیت  
بہتر طور پر ظاہر ہے۔  
یہ نظم ان کی مشہور  
نظموں میں سے ایک ہے۔  
اس نظم میں ان کی  
شاعرانہ صلاحیت کا  
بہتر نمونہ ہے۔

میر تقی میر کی یہ نظم  
ان کی سادگی اور سلیس  
لہجے کا ایک مثالی  
نمونہ ہے۔



































Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, located in the upper right section of the page.

Handwritten signature or name, located below the first block of text.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle right section of the page.

Handwritten signature or name, located below the second block of text.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle left section of the page.

Handwritten signature or name, located below the third block of text.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower middle section of the page.

Handwritten signature or name, located below the fourth block of text.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower left section of the page.

Handwritten signature or name, located below the fifth block of text.



Handwritten text in Arabic script, first line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, second line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, third line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the left column.

Handwritten text in Arabic script, first line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, second line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, third line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the right column.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the right column.



Handwritten text in cursive script, first line.

Handwritten initials or a small section of text.

Handwritten text in cursive script, second line.

Handwritten initials or a small section of text.

Handwritten text in cursive script, third line.

Handwritten initials or a small section of text.

Handwritten text in cursive script, fourth line.

Handwritten initials or a small section of text.

Handwritten text in cursive script, fifth line.

Handwritten initials or a small section of text.

Handwritten text in cursive script, sixth line.

Handwritten text in cursive script, seventh line.

Handwritten initials or a small section of text.

Handwritten text in cursive script, eighth line.

Handwritten text in cursive script, ninth line.

Handwritten text in cursive script, tenth line.

Handwritten text in cursive script, eleventh line.

Handwritten text in cursive script, twelfth line.

Handwritten text in cursive script, thirteenth line.

Handwritten text in cursive script, fourteenth line.

Handwritten text in cursive script, fifteenth line.







しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後

船

しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後

古今和歌集卷第二十

大音所清言

しむの花はての後

しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後

日本記

しむの花はての後

しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後

しむの花はての後

しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後  
しむの花はての後

しむの花はての後



Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, located at the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short phrase, located below the signature on the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short phrase, located below the signature on the right page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short phrase, located below the signature on the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short phrase, located below the signature on the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short phrase, located below the signature on the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short phrase, located below the signature on the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short phrase, located below the signature on the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the top of the right page.



Handwritten text in cursive script, likely a letter or document fragment.

Handwritten text, possibly a signature or a specific phrase.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text, possibly a signature or a specific phrase.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text, possibly a signature or a specific phrase.

Handwritten text, possibly a signature or a specific phrase.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text, possibly a signature or a specific phrase.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.



Handwritten text in Arabic script, top line.

Handwritten text in Arabic script, second line.

Handwritten text in Arabic script, third line.

Handwritten text in Arabic script, fourth line.

Handwritten text in Arabic script, fifth line.

Handwritten text in Arabic script, sixth line.

Handwritten text in Arabic script, seventh line.









Die Schenke der ...

Die ...

Die ...

卷第十一

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...

卷第十一

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...

Die ...



古今和歌集序

紀孫登

史和歌之說其根於心地耳其花於詞曲者也  
 人之石也其能無為思慮易於感衣樂相感也  
 於志誠於言是矣其色也其悲也其樂也  
 丁言清動天機鬼神人倫和之矣其旨於和  
 辭有之哉一之風二之賦三之詩四之興  
 五之雅六之頌七之文八之書九之論十之論  
 吟賦之雅意曲意各及於物法乎有之自然















為二十卷又曰十月十日初集長等少喜為  
疑之竊<sup>秋</sup>上卷之長況亦多恐時時一錄正卷  
子卷之杜通味方之中無以集名送  
一再為送送中集人 誓以復和飲之新  
東平院定善寺寺主寺主次之五回月十日  
長身之寺禮席



世集家之所編雜說之多且任師說又於  
見為備後學之證本亦不似充服之石德平  
自書之近代僻乘之如士以書生之告錯雜  
有識之秘事之謂道之魔姓亦用之  
但女子目錄只可隨其身之所好亦存自  
心之差別志同者可隨

貞應二年七月廿百亥都尚書左判

月廿八日令讀合記書分諸字平傳平編孫  
可為將來之證也







